

一般質問 質問事項・答弁の要旨

市報のあり方 庁内連携のしくみ

生活者ネット・市民クラブ 梁川 律子

市報は市民に情報を伝える手段として重要な役割があることは誰もが承知しています。「市民が必要としている情報がわかりやすく、タイムリーに掲載されているか」ということを常に検証する必要があると考えます。

問) 市民生活への影響で重要な道路工事の年間予定を掲載する必要があると考えるが。

都市建設部長) 都道も含め、掲載する。

問) 市報内容、掲載の仕方など市民参加を行ないながら、「市報について」の評価、あり方を検討せよ。

政策部長) 市民意見を聞くことを検討する。

問) 児童・生徒だけではなく、教職員も含め身近な自治体のことを学習することは重要と考える。小・中学校に市報配布部数を増やし、学校教育での活用を考えることについては如何か。

教育長、教育部長) 市の状況を的確に把握し、教育活動に生かすことは重要。検討する。

問) 自治基本条例が施行され、「市民」定義は市で活動している在活者も含まれる。そのために、駅に市報を置かせてもらう事を検討せよ。

政策部長) 条例に則り、鉄道事業者と協議する。

庁内で連携して解決しなければならない課題が多くあります。しかし現在行われている連携の仕方は計画策定の際に行われているだけで、現実の市民生活の場面では連携が行われないまま、処理されていることが多々あります。

問) 各課連携を実のあるものにするために、各部長が出席する庁議で共有化する事を検討せよ。

政策部長) 庁議のあり方を早急に検討する。

その他、「地域福祉について」の質問をしました。

市長の庁舎建設決断は 財政判断失敗そのもの

無会派 甲斐 よしと

市長は庁舎の5年間スピード建設を北口再開発と平行実施を決断し、私は財政的に不可能と猛反対してきた。後に市長は庁舎即時建設を北口の事業費73億増のせいにして断念したが、実際現在市の負担増は16億にすぎない。そもそも私がレベルが高過ぎと申し北口計画に変更したのも、経費を下げると言って抑制できなかったのも市長自身であるにも関わらず、決断失敗の責任も明らかにせず、責任転嫁の表明は市政執行責任者として失格だ。市民文化会館建設決断断念に続き、財政運営判断の失敗の責任を求めたが、自らの失敗の責任を取る答弁は無い。

高齢者、特に独居の不安和らげ等、即時進めよ『高齢者保健福祉計画21～23年度』が策定され、「地域・社会の支えあい」が標榜され、一刻も早く望むが、その到達は遠い。その遠い目標は右手に持ち、左手には即効的な施策を講ずべきだ。まさに今、高齢で独居の方は現在、大丈夫であっても不安であふれている。例えば、ポットによる安否確認装置等を行う自治体もあるが、新聞配達所と市が提携して依頼者との新聞收受による確認という策もある。独居に限らず、多角的で、経費を抑え知恵を絞り、不安の払拭策や介護保険ボランティア制度等、参加も促す即効的な策を求めたところ、部長の「国分寺の高齢化を迎えるのはH47年と随分先のことで…」と呆れた答弁を述べた。私は今まさに特養待機者から先行き不安な方々がいっぱい直近の課題と申し、総務部長も前例ないと言う、課長1年で福祉保健部の経験すらない人を市長選直前にあえて部長にした市長の非常識を問うた。

遅々として進まぬ 諸課題の実態が鮮明に！

無会派 木村 徳

木村 = 市長は職員削減を成果として述べるが、8年間での正規・嘱託各職員数の推移は。

市長 = 正規は150人減。嘱託は146人増。※一方、超過勤務(残業)が大幅に増えており、実態は人件費改革はむしろ悪化しています。

木村 = 職員の人材育成・意識改革には業績評価制度の本格導入が必要と考えるが如何か。

総務部長 = まず人材育成基本方針を見直す。業績評価はおっしゃる通りだ。評価する側の能力を磨き、できるだけ早く導入をしたい。

木村 = 毎年度20億円の新規事業予算を確保という方針が、22年度11億円、23年度は9億円しか確保できない。不況に合わせて予算減額では、行革をやっていないということだ。改善を。

政策部長 = 従来は20億円確保をしており、市民ニーズも多様化しているの、それを踏まえて財政フレームを組み立て、財政運営にあたる。

木村 = 人道支援名目で小金井市のごみの受け入れ決定後、何故経過報告が議会にないのか。

環境部長 = 不徳のいたすところと反省をしている。※その後、質問中に「今、小金井市から連絡がきました」などという答弁がありました。

木村 = 市長就任から8年間で、事業計画は何年先送りにしたのか。

市長 = 18年度完成から26年度完成になり、8年だ。遅れたことは申し訳なく、大変迷惑をかけている。完成を目指して積み上げていく。

木村 = 再開発の今後の課題と、その解決策は。

開発部長 = 権利者に対する権利変換計画の認可が山である。王道はないが、全力で取り組み再開発を達成していく。

第2回定例会の議案の審議結果

第2回定例会には新規14件の議案が提出され、可決10件、同意3件、撤回1件となりました。

議案名	議案の要旨	結果
国分寺市議会委員会条例の一部を改正する条例について	関係法令の改正に伴う文言の整理を行う。	可決 全員賛成
ごみ対策特別委員会の設置について	ごみの減量、リサイクル及び清掃施設等のごみ問題に関し、特別委員会を設置し調査する。	〃 〃
監査委員の選任について	国分寺市監査委員の退職に伴い、後任に釜我健二氏を選任することに同意する。	同意 〃
監査委員の選任について	国分寺市監査委員の任期満了に伴い、後任に森末暢陽氏を選任することに同意する。	〃 〃
国分寺市建築審査会委員の選任について	国分寺市建築審査会委員の辞任に伴い、斉藤 正氏に委嘱することに同意する。	〃 〃
国分寺市職員定数条例の一部を改正する条例について	市長の事務部局の職員を583人に、教育委員会の職員を127人に、その他の部局の職員を合わせた合計を726人に改める。	可決 〃
国分寺市職員懲戒審査会設置条例について	職員の懲戒処分について調査し、審査する市長の附属機関を設置し、懲戒処分の公正性を確保する。	撤回
国分寺市義務教育就学児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	義務教育就学児の医療費の一部負担金相当額を変更する。	可決 全員賛成
国分寺市事務手数料条例の一部を改正する条例について	長期優良住宅建築等計画の認定事務の手数料を定める。	〃 〃
平成21年度国分寺市一般会計補正予算(第3号)	教育研究指導に要する経費等の増により、313万7千円を増額し、歳入歳出それぞれ365億2,531万4千円とする。	〃 〃
平成21年度国分寺市受託水道事業特別会計補正予算(第3号)	浄水所補修工事費等の増により、1,030万円を増額し、歳入歳出それぞれ2億4,220万円と定める。	〃 〃
財産の譲渡について	適正な維持管理を図るため、民地内に設置した雨水浸透ますを使用者に譲渡する。	〃 〃
国分寺市職員懲戒審査会設置条例について	職員の懲戒処分について調査し、審査する市長の附属機関を設置し、懲戒処分の公正性を確保する。	〃 〃
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	平成21年6月に職員に支給する期末手当のうち、職員は20/100、再任用職員は10/100相当額を支給凍結する。	〃 〃